木戸台遺跡のこれまでの発掘調査成果

(1) 地点は、平成 29 年度末及び平成 30 年 11 月~平成 31 年 3 月 に850㎡を対象に調査が行われ、縄文時代の竪穴住居跡3軒、土坑 48 基などが見つかりました。縄文時代中期の「有段式竪穴住居跡」 からは、装身具と思われる鹿角製品が出土しました。













(2) 地点は、令和元年10月~令和2年3月 及び令和2年4月~5月に1,628㎡を対 象に調査が行われ、縄文時代の竪穴住居 跡 12 軒・土坑 117 基、古墳時代竪穴住 居跡 26 軒、奈良・平安時代の竪穴住居跡 4軒などが見つかりました。縄文時代の軟 玉製垂飾品や古墳時代後期の滑石製模造 品、小形勾玉などが出土しています。







(4) 地点は、令和 2年5月~11月に谷 斜面部 531 ㎡を対象に調査が行われ、縄 文時代の竪穴住居跡 10 軒・土坑 172 基、 古墳時代の竪穴住居跡 1 軒などが見つか りました。斜面下部につくられた古墳時 代の竪穴住居跡の存在は当時の土地利用 を考える上で重要な成果となっています。

(5) 地点は、令和3年4月~令和4年3月に2,064㎡を対象に調査が行われ、 縄文時代の竪穴住居跡 29 軒・土坑 703 基、古墳時代の竪穴住居跡 28 軒、奈良・ 平安時代の竪穴住居跡5軒や馬を埋葬した土坑などが非常に密集した状態で検 出されました。本遺跡の中では中心的な区域となっています。











土坑出土縄文土器

今回の見学会では、発掘調査中の木戸台遺跡(6)を中心に、過去の成果を合わせてご覧いただきました。遺跡は 縄文時代中期と古墳時代後期に多くの人々が集い、集落を営んでいたことが分かりました。木戸台遺跡の全貌は、こ れから整理作業を経てより一層明らかとなっていきます。発掘調査報告書が刊行された際は、図書館などでお手に とっていただければ幸いです。私たち公益財団法人千葉県教育振興財団は、今後も遺跡見学会や遺物の展示会をはじ め、様々な方法で埋蔵文化財の魅力について伝えていきます。今後もぜひご注目ください!

令和4年10月29日 横芝光町木戸台遺跡見学会 パンフレット 公益財団法人千葉県教育振興財団主催 千葉県教育委員会・横芝光町教育委員会後援



今年度調査範囲 ④ SB-001 SI-005 · 008 · 009 ② SI-004 ③ SI-003 ⑤ SI-012 ① SK-025 木戸台遺跡概要図 縮尺 1:1,000 奈良・平安時代竪穴住居跡 ■ 縄文時代竪穴住居跡 ● // 土坑 掘立柱建物跡 🔵 // 柱穴 // 溝状遺構 古墳時代竪穴住居跡 □ 中・近世溝状遺構 // 土坑

横芝光町 木戸台遺跡

高谷川を望む標高約 40m の台地に所在する遺跡です。圏央道(大栄 JCT 〜松尾横芝)の建設に伴い、昨年度までに 5 地点の調査を行った結果、縄文時代の竪穴住居跡が約 50 軒、貯蔵等に利用された土坑が 1000 基以上、古墳時代後期の竪穴住居跡が約 50 軒など確認され、縄文時代中期(約 4,500 年前)及び古墳時代後期(約 1,400 年前)に集落が 営まれていたことが分かりました。今回ご覧いただく第 6 次調査地点では、縄文時代中期の貝層を伴う土坑や古墳時代 後期の竪穴住居跡、奈良時代の掘立柱 建物跡が検出されました。



① -1 縄文時代中期の土坑 (SK-025)



①-2 土坑から出土した縄文土器 (SK-025)



② 古墳時代後期の竪穴住居跡 (SI-004)



③ 古墳時代後期の竪穴住居跡から出土した土製勾玉 (SI-003)



④ 古墳時代後期の竪穴住居跡と奈良時代の掘立柱建物跡 (SI-005・008・009・SB001)



⑤ 古墳時代後期の竪穴住居跡遺物出土状況 (SI-012)